

「意見」淀川水系流域委員会諸経費調査委員会（仮称）の設置について

現政府、国土交通省大臣 国会議員 本省河川局長（独）水資源機構理事長
近畿地方整備局長 関係府県知事 淀川水系流域委員会委員長 様

琵琶湖・淀川水系流域圏京都桂川流域住民 酒井 隆

9月23日京都新聞朝刊報道「大戸川ダム緊急性低い 府技術検討会 知事に中間報告」
～、また「この検討会の費用は3回で84万円」と述べ、意見の対立に伴い協議に多くの
経費がかかった整備局と諮問機関・淀川水系流域委員会を皮肉った。とあります。

委員会経費については、過去の委員会、国会質疑及び前国交大臣記者会見要旨や河川局、
整備局、関係市長村会議、説明会、意見交換会等での委員会に対する姿勢、発言等は琵琶
湖・淀川水系流域関係者、住民は何のことか理解できません。

血税のムダ使い、用途の不明な行政サービスは、日常茶飯事に行われ報道されています。
その責任を取るどころか関係者等は平然と開き直っています。委員会経費に関わる調査委
員会（仮称）の設置を要請します。